

第73回(春季)講演大会工場見学班表

昭和42年4月8日(土)

班	定員	見 学 先	時 間	所 在 地	見 学 内 容	集合場所および時間
1	50	*鈴木金属工業(株) 習志野工場	9:30 ~11:30	習志野市東習志 野2-750		集合 8:00 旧赤坂離宮前(国電, 地下鉄四谷駅下車)
		川崎製鉄(株)千葉製鉄所	13:00 ~15:00	千葉市川崎町1	岸壁, 高炉, 製鋼, 圧延工場	
2	50	鉄道技術研究所	9:30 ~11:00	国分寺市光町 2-180	諸実験設備	集合 8:00 旧赤坂離宮前(国電, 地下鉄四谷駅下車)
		*日産自動車(株)村山工場 (予定)	13:00 ~15:00	北多摩郡村山町 大字中藤6000	自動車製造工程	
3	50	*山武ハネウエル(株) 蒲田工場	9:30 ~11:30	大田区西六郷 4-28-1	工業用とその製造設備 計器および調節弁, 組付 パネル	集合 8:40 旧赤坂離宮前(国電, 地下鉄四谷駅下車)
		*志村化工(株)本社工場	13:30 ~15:30	板橋区東坂下 2-18-3	電解ニッケル, フェロニ ッケル	
4	50	八幡製鉄(株)東京研究所	9:30 ~11:30	川崎市井田1618	鉄鋼の分析, 物理試験	集合 8:00 品川駅海岸口前
		昭和電線電纜(株) 本社工場	13:00 ~15:00	川崎市東渡田町 3-11	裸線工場, 動力ケーブル工 場, ビニール線工場など	
5	50	日本鋼管(株)水江製鉄所	9:30 ~11:30	川崎市水江町 5-1	高炉, 分塊, 熱延設備	集合 8:00 品川駅海岸口前
		麒麟麦酒(株)横浜工場	13:00 ~15:00	横浜市鶴見区生 麦町字明神前17	ビール製造工程	
6	50	東京電力(株)横須賀火力 発電所	10:00 ~12:00	横須賀市久里浜 9-2-1	火力発電設備	集合 8:00 品川駅海岸口前
		日本鋼管(株)鶴見造船所	13:30 ~15:30	横浜市鶴見区末 広町2-1	船舶建造	

* 印は同業者お断り

材料の強度と疲労に関する総合シンポジウム(第12回)

(趣旨) 材料の降伏, 破壊, 疲労およびクリープなど強度上の諸問題は, 物理学, 化学, 応用数学, 金属学, 材料学, 応用力学などの分野に関連した interdisciplinary な学問分野であります。そこで関連諸学会共催の下にこれらで毎年春, 表記シンポジウムを開催してきましたが, 毎回きわめて盛会であります。今回は前回は引続いて下記のように, 微視と巨視の結びつきに重点をおき, 最近の研究発表, 総説, 展望的解説, 問題点の提起, 活発な討論等を行ないたいと思います。

共 催 日本金属学会, 日本鉄鋼協会ほか5学会
日 時 昭和42年4月3日(月) 9:15~17:20
会 場 東京大学工学部 2号館大講義室

題目および講師

鉄鋼の降伏強度の転位論 東大理 鈴木 秀次君
金属強度の電子顕微鏡的研究 金材研 藤田 広志君
金属材料と高分子材の強度と破壊の
類似性と相異点について 学習院理 大川 章哉君
超強力鋼の強度と強化機構 東大工 荒木 透君
屋 食
X線による金属材料強度の研究 京大工 平 修二君

低サイクル疲労における切欠効果 東大工 飯田 国広君
材料強度学, とくに材料破壊と疲労に
関する最近の研究動向 東北大工 横堀 武夫君
高速荷重による材料の変形と破壊 京大工 田中吉之助君
鋼材の時効と強度および変形 東北大工 川崎 正君

参加無料

テキスト申込先:

仙台市大町 3-165 東活ビル 日本金属学会

訪独ベネルックス鉄鋼使節団特別報告講演会

本会が西ドイツならびにベネルックス3カ国に派遣いたしました“鉄鋼使節団”佐野団長以下16名は昨年9月14日より約2週間にわたり鉄鋼工場、研究所を訪問し、また各国の鉄鋼界の首脳と懇談を重ね、相互の交流と理解を深めかつ国際親善に大きな成果を挙げることができました。

同使節団の報告書が別記のごとく刊行されます機会に報告特別講演会を開催することになりました。多数会員お誘い合わせのうえご来聴下さるようご案内申し上げます。

記

1. 大阪地区

日 時 3月8日(水) 13:30~16:00
会 場 住友クラブ 大阪市西区土佐堀舟町 11-1
講 師 佐野団長ほか

2. 名古屋地区

日 時 3月18日(土) 13:00~17:00
会 場 名古屋市立工業研究所 名古屋市熱田区六番町
講 師 佐野団長ほか

訪独ベネルックス使節団報告書

“ベネルックスおよび西独鉄鋼業の概況”刊行について

本会が西ドイツ、ベネルックスに派遣いたしました、鉄鋼使節団は帰国後数回にわたり会合し、報告書のとりまとめ作業を進めてまいりましたが、2月下旬に刊行の運びとなりました。

本報告書は技術的傾向を中心に、鉄鋼業の再編成問題にもふれ、転換を迫られている欧州鉄鋼業の最近の動向を解明しております。購読を希望される方は、下記をご覧のうえお申し込み下さい。

記

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|---|-----------|-----------|---------|------------|---------|----------|---------|--------------|---------|----------|---------|----------|---------|--------------|---------|------------|---------------|-----------|
| 1. 書 名 | ベネルックスおよび西独鉄鋼業の概況 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. 内 容 | <p>第1篇 ベネルックスおよび西独鉄鋼業の概況</p> <table border="0"> <tr> <td>第1章 エネルギー</td> <td>第9章 鑄 鍛 鋼</td> </tr> <tr> <td>第2章 原 料</td> <td>第10章 特 殊 鋼</td> </tr> <tr> <td>第3章 輸 送</td> <td>第11章 研 究</td> </tr> <tr> <td>第4章 製 銑</td> <td>第12章 自 動 制 御</td> </tr> <tr> <td>第5章 製 鋼</td> <td>第13章 規 格</td> </tr> <tr> <td>第6章 鋼 板</td> <td>第14章 教 育</td> </tr> <tr> <td>第7章 条 鋼</td> <td>第15章 労 働 安 全</td> </tr> <tr> <td>第8章 鋼 管</td> <td>第16章 再 編 成</td> </tr> </table> <p>第2篇 訪 問 記</p> <table border="0"> <tr> <td>第1章 諸研究機関・研究所</td> </tr> <tr> <td>第2章 諸 工 場</td> </tr> </table> <p>第3篇 座 談 会</p> | 第1章 エネルギー | 第9章 鑄 鍛 鋼 | 第2章 原 料 | 第10章 特 殊 鋼 | 第3章 輸 送 | 第11章 研 究 | 第4章 製 銑 | 第12章 自 動 制 御 | 第5章 製 鋼 | 第13章 規 格 | 第6章 鋼 板 | 第14章 教 育 | 第7章 条 鋼 | 第15章 労 働 安 全 | 第8章 鋼 管 | 第16章 再 編 成 | 第1章 諸研究機関・研究所 | 第2章 諸 工 場 |
| 第1章 エネルギー | 第9章 鑄 鍛 鋼 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第2章 原 料 | 第10章 特 殊 鋼 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第3章 輸 送 | 第11章 研 究 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第4章 製 銑 | 第12章 自 動 制 御 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第5章 製 鋼 | 第13章 規 格 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第6章 鋼 板 | 第14章 教 育 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第7章 条 鋼 | 第15章 労 働 安 全 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第8章 鋼 管 | 第16章 再 編 成 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第1章 諸研究機関・研究所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第2章 諸 工 場 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. 価 格 | 会員 1500 円 非会員 2000 円 (送料本会負担) | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. 申込方法 | 書名および送付先を明記のうえ、代金を添え現金書留にてお申し込み下さい。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5. 申 込 先 | 東京都千代田区大手町 1-5 経団連会館 3 F
日 本 鉄 鋼 協 会 編 集 課 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

予備還元鉱石に関する国際会議のお知らせ

標記国際会議が開催されますのでご案内申し上げます。なお総数 22 件の論文が発表され、わが国からは八幡製鉄株式会社から一篇発表されます。

日 時 昭和42年 5 月 29～31 日 IRSID 主催 ECSC 後援
 場 所 仏、エヴィアン市 SFM, AIM, CNRM, ISI, VDEh 共催
 議 題 (1) 鉄鉱石の還元または予備還元
 (2) 製鉄における予備還元原料の利用
 (3) 製鋼における予備還元原料の利用

材料破壊国際学会 (ICF) ニュース

Proceedings of the First International Conference on Fracture 申込について

本会協賛により 1965 年秋仙台市にて開催され、好評を博しました材料破壊国際会議の Proceedings of the First International Conference on Fracture がこの度刊行されました。全 3 巻、論文 127 編 (2200 頁) で広く一般に頒布されていますが、外国からの注文も殺到し、残部僅少となりました。購入を希望される方は下記により早目にお申し込み下さるようご案内いたします。

なお、材料の強度および破壊に関する常置の国際学会「International Congress on Fracture(ICF)」が設立され、会長に東北大学横堀武夫教授が選任されました。また仙台の会議が第 1 回と命名され、第 2 回会議はロンドン近郊のブライトンにおいて 1969 年 4 月 14 日～19 日開催されることに決定いたしました。

記

[Proceedings of the First International Conference on Fracture]

申込先 仙台市荒巻字青葉 東北大学工学部材料強度研究施設内
 日本材料強度学会気付

価 格 9000 円

“世界鉄鉱資源要覧”(限定版)頒布のお知らせ

科学技術庁資源調査会鉄鋼部編さん 本会発行

わが国鉄鋼業が多大の成長をとげている現在、その将来の発展の鍵は優秀な資源の供給源を得ることにあります。科学技術庁資源調査会鉄鋼部会がわが国で始めてこの問題に取り組み「世界鉄鉱資源要覧」をまとめ、本会で刊行いたしました。

本書こそは鉄鋼界待望の書であり、具体的内容を豊富に網羅している点で世界的にも類いまれな画期的資料であります。

下記内容をご参照の上、本書を研究・調査に広くご活用下さるようご案内申し上げます。

主要目次	1. 鉄鉱資源一覧表	{ 大きさ B 4 変形判 (24・5 cm × 29 cm) 頁 数 140 頁 地 図 16 葉 装 幀 本クロス上製本 定 価 6000 円(会員) 8000 円(非会員) 〒 本会負担
	2. 国連方式による鉄鉱床分類法の説明	
	3. 鉱石輸送距離表と港湾概況表	
	4. 鉄鉱資源分布図	

○申込方法 現金書留にて①送金目的②注文冊数③送金額④氏名⑤送付先住所 を明記してお申し込み下さい。代金受領後送本致します。

なお送付途中破損のおそれがありますので、東京都内および近郊の方はできるかぎり本会までお越し下さい。

○申込先 東京都千代田区大手町 1-5 経団連会館 3 F
 (社) 日 本 鉄 鋼 協 会 編集課

8 学 会 互 報 欄

本会会員はすべて主催団体会員に準じた取扱いで参加できます。詳細は主催団体へお問い合わせください。
 なお、参加またはお問い合わせの際は本会会員の旨を附記して下さい。

行 事 名	開 催 日	会 場	会 費	主 催 団 体	申 込 締 切
動力に関する講演会	42. 3. 7(火) 10:00~ 8(水) 11:00~	日本化学会講堂	参加自由	港区赤坂4-1-24 日本規格協会ビル Tel (582) 6911 日本機械学会	前刷 2月25日
学生卒業研究発表 講演会	42. 3. 11(土) 10:30~	東海大学	〃	〃	前刷 2月28日
内燃機関の工作法に関する講習会	42. 3. 16(木) 17(金) 9:30~	全通会館9階ホール	会員 2,500円	〃	聴講 3月10日
設計の新しいあり方と 企業経営座談会	42. 3. 28(火) 13:00~	日本化学会講堂	参加自由	〃	
J. P. Denhartog 博士 特別講演会	42. 4. 21(金) 15:00~	日本都市センター 本館講堂		〃	参加 3月31日
これからの金属加工 技術に関する講習会	42. 4. 28(金) 9:30~	日本化学会講堂	会員 2,000円	〃	聴講 4月18日

最近刊行物・技術講座テキスト案内

書名	刊行年月	判型	ページ数	定価(円)
刊行物	昭39-9	B5	63	会 600円 非 900円 (千65)
英国鉄鋼業の現況 総括編 (訪英鉄鋼視察団報告書)				
英国鉄鋼業の現況 各論編 (訪英鉄鋼視察団報告書)	昭39-12	B5	154	会 1200円 非 1800円 (千200)
鋼の脱酸の物理化学的原理	昭39-12	B5	98	会 900円 非 1200円 (千75)
計測部会報告書 (高炉炉頂ガス分析, 高炉装入原料の秤量)	昭41-5	B5	70	会 600円(送料) 非 800円(不要)
高炉製鉄法の理論	昭41-7	B5	392	会 2000円 非 2500円 //
各製鉄所における製鉄設備の展望	昭41-10	B5	150	製鉄部会 300円 // 会 500円 //
技術講座テキスト				
第3回	昭41. 5.30			
将来の連続製鋼法について		B5		200円 //
将来の原子力発電について		B5		200円 //
将来の製鉄法について*		B5		200円 //
日本古来の製鉄法“たたら”について		B5		200円 //
第4回	昭41. 7.18			
B-処理鋼		B5		200円 //
Nb 添加高張力について		B5		200円 //
希土類元素の効果		B5		200円 //
合金元素選定の考え方について**		B5		200円 //
第5回	昭41. 9.19			
鉄鋼の強度の転位論		B5		200円 //
鉄鋼中の点欠陥		B5		200円 //
転位論入門		B5		200円 //
第6回	昭41.10.20			
合金元素選定の考え方について注1)		B5		200円 //
将来の製鉄法について注2)		B5		200円 //
第7回	昭41.11.16			
反応速度論概況		B5		250円 //
基礎反応の反応機構, 律速段階		B5		250円 //
熱力学概説		B5		250円 //
鉄鋼製錬における基礎反応の平衡関係 および成分の活量などの演習		B5		250円 //
第8回	昭42. 1.27			
金属腐食の機構		B5		250円 //
耐候性鋼材		B5		250円 //
鉄鋼の有害微量元素		B5		250円 //
快削鋼について (S, Pb)		B5		250円 //

注1) 第4回の*印内容と同じ, 注2) 第3回の*印内容と同じ

申込先 東京都千代田区大手町1-5 経団連会館3階 日本鉄鋼協会 編集課

申込方法 書名, 送付先を明記, 代金ならびに送料を同封のうえ, 現金書留にてお申し込み下さい。